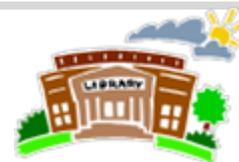


花見川ライブレター 第11便



花見川図書館(本館)と団地分館(分館)からの
お知らせと話題のページ花見川ライブレターです。

今年の夏は、太平洋高気圧・オホーツク高気圧・チベット高気圧、3つの高気圧がせめぎ
猛暑と雨天が続く不順な天候でした。小学生・中学生の皆さんは、いよいよ学校が始まりま
したが、体調管理は万全ですか。

図書館は、皆さんにいろいろな本と出会っていただけるようテーマ展示やイベントを開催
しています。今回は、そのひとつ図書館ブックラリー（花見川図書館）・図書館クイズ（花
見川団地分館）を紹介します。

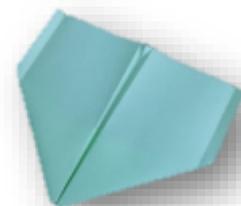
花見川図書館ブックラリー

花見川図書館では、毎年夏休み期間にブックラリーを実施しています。ブックラリーと
は、「ブック」と「スタンプラリー」を合わせたもので、本を1冊読むごとにシールを集め
ていくというもの。10冊読んだら、ゴールです。

今年のテーマは、「さぁ、でかけよう!」。冒険や探検だけでなく、ちょっとそこまで出か
ける本でもOK。ただし、10冊中4冊は、課題本の棚から選んで読みます。普段読まない
ような本にも挑戦!そして、最後の1冊は毎年恒例の福袋。学年ごとに用意してある袋を
引いて、その袋の中に入っている本を読みます。みんな、どんな本が出てくるか、ドキドキ
しながら選んでいました。

ゴールした子には、完走証と紙飛行機をプレゼント!この紙飛行機は、2010年に戸田拓
夫さん(日本折り紙ヒコーキ協会会長)が滞空時間29秒2のギネス記録を樹立した「ゼロ
ファイター」というもの。折るのが少し難しくて、職員が何度も練習して折りました。

受付は8月31日までですが、ゴールは9月に入ってからでも大丈夫。ぜひ、ゴールして
「ゼロファイター」を手に入れてください。



ゼロファイター

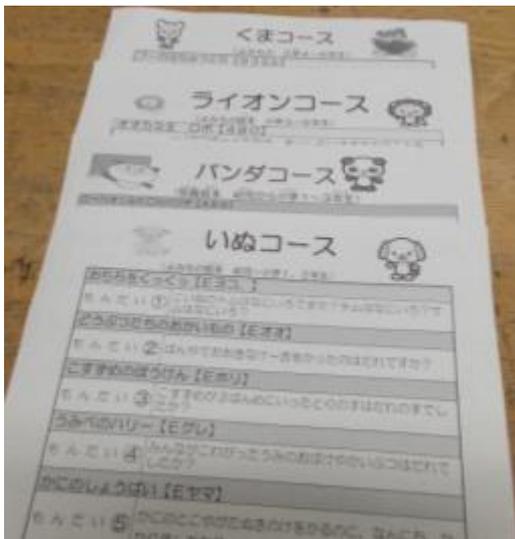
花見川団地分館 図書館クイズ

7月15日～8月31日まで、図書館クイズを実施しました。今年は、動物や昆虫の本から、問題を出しました。

問題は4コースあり、いぬ（幼児～小学1、2年生よみもの絵本コース）パンダ（幼児～小学1～3年生写真絵本コース）、ライオン（小学3～6年生よみもの絵本コース）、くま（小学4～6年生よみものコース）より自分の学年にあったものに挑戦し、2回目は別のコースを選んで行いました。みんな真剣に取り組んでいました。

全問正解の人には、職員が手づくりのペットボトルのキャップで作ったスタンプをプレゼントしました。

図書館クイズの様子



プレゼントのスタンプ



大人気！！ わらべうたと絵本の会

花見川図書館では、毎月第3金曜日の11時～11時30分まで、0歳から3歳児のお子さん
と保護者を対象に「わらべうたと絵本の会」を
実施しております。

とても、人気があり常時、5組から10組の
親子が参加しています。

内容は、始めに絵本の読み聞かせを行い、
そのあとはわらべうたを親子で楽しむ2部構成
になっております。

参加の保護者からは、「親子で身体を動かし
て楽しい。」「毎月楽しみにしている。」と好評を得ています。

0歳から参加できるとあって、参加者同士で育児のはなしをしたり、お友達になったり、と
かく孤立しがちな時期に親子での癒しの場になっています。



おすすめの本 大募集

花見川図書館と花見川団地分館で、現在おすすめ本を募集しています。

これは、読書まつり（花見川図書館11月4日（土）、花見川団地分館10月21日
（土）

に展示を行うためです。記入していただいた用紙は、ポップにして、本と一緒に展示させて
いただきます。感動した1冊、人生が変わった1冊、面白かった1冊を是非紹介してくださ
い。また、大人の方から今の子ども達に読んでほしい本の推薦もお待ちしております。

花見川図書館の様子



千葉市の歴史紹介

花見川図書館では、講師をお招きして郷土史をご講演いただく郷土史講座を毎年実施しております。この講座は20年を超えて実施している人気の講座であり、多数の方々が受講されております。

郷土の歴史に関心を持つ方のために、ライブレターでも郷土の歴史について特徴的な事柄をご紹介したいと思います。今回は花見川区に焦点をあて、花島観音・青木昆陽・大賀ハスについて概略を記してみました。

天福寺（花島観音）

天福寺は花見川区花島町の字中島にあります。真言宗豊山派の寺で山号は花島山、花島観音とも言われます。

花島観音は、和銅2年(709)4月行基が東国の巡錫の際当地に至り、桜の樹をもって十一面観音を彫り出し、堂一棟を建てて安置したのが始まりと伝わります。

当寺の観音堂には、33年に一度開扉される秘仏本尊の木造十一面観音菩薩立像が安置されています。立像の高さは2m30cm弱で、伝承とは異なりカヤの木が用いられています。

立像は正面髪際にうねりを付けているところや、着衣の構成に13世紀前半の慶派の作風を学んだあとがあります。また、像内の墨書銘で、建長8年(1256)仏師賢光の制作と知ることができます。なお、賢光の作品は千葉県内に5躯現存し、製作年代は本寺の立像を最古として正応2年(1289)に及んでいます。



青木昆陽

元禄11年(1698)5月12日江戸日本橋の魚問屋の子に生まれ、明和6年(1769)10月12日に72歳で没しました。若い頃から京都に赴き古義学の伊藤東崖に師事しています。27歳の時に江戸八丁堀に塾を開き古学を講じました。

昆陽は享保17年(1732)に起こった享保の飢饉で民衆が飢餓に苦しむのを見て、救荒のため甘藷を栽培する必要性を説いて『蕃薯考』を著しました。近隣に住む町奉行所与力の加藤枝直は町奉行の大岡忠相に昆陽を推挙し、幕府は『蕃薯考』の価値を認め薩摩芋の栽培を救荒対策として実施することにしました。昆陽は加藤枝直の給知である馬加村(千葉市花見川区幕張町)と不動堂村(九十九里町)で薩摩芋を試作しました。昆陽の試作後薩摩芋は下総地方一帯に広がり、救荒作物として、また日用の食糧として



広く食されるようになりました。

馬加村では、天明・天保の飢饉においても薩摩芋があったため、多くの命が救われたと言われ、あるいは餓死者が一人も出なかったとも伝わっています。そのため馬加村では昆陽に対する感謝の念が強く、弘化 3 年(1846)に昆陽を神として祀る昆陽神社が造立されました。

大 賀 ハ ス

大賀ハスは、昭和 26 年(1951)3 月に千葉市花見川区畑町と同区朝日ヶ丘町の両町に所在の、東京大学検見川厚生農場（現、東京大学検見川総合運動場）内の青泥底層の中から発見されたハスの実を発芽させたものです。発見地点は両町の境付近ですが、畑町に属すると思われれます。なお、朝日ヶ丘町は昭和 13 年(1938)に検見川町の一部を分離して設定されました。

大賀ハスの実を発見した大賀一郎氏は、明治 16 年(1883)岡山に生まれた植物学者です。(旧制)第 8 高等学校教授を経て南満州鉄道会社に入社し、中国東北地方の普蘭店から出土した古ハスの種子を研究しました。太平洋戦争敗戦後は千葉県滑川(現成田市)出土のハスの実(約 1200 年前と推定)と、東京大学検見川厚生農場出土のハスの実(約 2000 年前と推定)の発芽に成功しました。同農場出土のハスの実は、昭和 27 年(1952)7 月 18 日から 4 日間開花しました。永い眠りから覚めたハスは、淡紅色の美しい花であったと言います。昭和 29 年(1954)3 月 31 日には「検見川の大賀蓮」として千葉県天然記念物に指定され、「大賀ハス」は広く知られることになりました。



【参考文献】

- 『国史大辞典』第 1 巻 吉川弘文館 昭和 54 年 R210
- 『国史大辞典』第 2 巻 吉川弘文館 昭和 55 年 R210
- 『社寺よりみた千葉の歴史』 千葉市教育委員会 昭和 59 年 C210.1
- 『大賀ハス』 千葉市立郷土博物館 昭和 63 年 C479
- 『千葉市の仏像』 千葉市教育委員会 平成 4 年 C718
- 『千葉県の地名』 平凡社 平成 8 年 C290
- 『千葉市史 史料編 9 近世』 千葉市 平成 16 年 C210.1//9
- 『コンサイズ日本人名辞典』 三省堂 平成 16 年 R281

花見川図書館のマスコット (bukun,tosyota,shiori)

